

経営学部 第1部 経営学科 2020年度入学生
履修ガイダンス資料

1 卒業に必要な単位数

合計 124 単位

⇒『履修のてびき』P.9

⇒『履修のてびき』P. B-10

		分野・区分		必要単位数	
全学共通科目	外国語科目	必修外国語科目	第1外国語 8単位	8 単位	合計 24 単位
			or		
		*1ヶ国語or2ヶ国語	第1外国語 4単位	8 単位	
			第2外国語 4単位		
	選択外国語科目		2 単位		
	広域科目	①思想と文化		学部指定科目から2単位	
		②歴史と社会		学部指定科目から2単位	
		③健康とスポーツ		2 単位	
		④自然と生活		2 単位	
		⑤共通特殊講義			
⑥キャリア形成科目		2 単位			
<p>【重要】「①思想と文化」「②歴史と社会」の分野は、学部指定科目からそれぞれ1科目2単位を含むこと！含まないと卒業できません。</p> <p>①…哲学入門、心理学入門、倫理学入門、芸術学入門</p> <p>②…歴史学入門、政治学入門、経済学入門、統計学入門、社会学入門</p>					
学部基礎科目	現代経営入門Ⅰ		注1	10 単位	
	現代経営入門Ⅱ				
	会計基礎論Ⅰ				
	会計基礎論Ⅱ				
	会計基礎論(中級)Ⅰ				
	会計基礎論(中級)Ⅱ				
	情報実習Ⅰ				
	情報実習Ⅱ				
	ビジネス法入門Ⅰ				
	ビジネス法入門Ⅱ				
キャリア設計					
学科専門科目	(A) 必修科目	経営学 流通論 財務会計論入門 利益会計論		12 単位	
	(B) 選択科目			44 単位	
	(C) 選択科目	(a)			24 単位
		(b)	本学科に配当されていないビジネス法学科、第2部経営学科の科目。		
		(c)	全学共通科目[外国語科目・広域科目]の余剰単位、全学共通科目[オープン科目]		
		(d)			
(D) 演習科目			10 単位		

注1. 全商簿記1級または日商簿記2級以上を取得している学生は、「会計基礎論Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければならない。

1 必修外国語科目 8単位必修

【1ヶ国語選択者】 第1外国語のみを“1年～2年次にかけて”履修

学年	春学期	秋学期
1年次	**語Ⅰa (1単位)	**語Ⅱa (1単位)
	**語Ⅰb (1単位)	**語Ⅱb (1単位)
2年次	**語Ⅲa (1単位)	**語Ⅳa (1単位)
	**語Ⅲb (1単位)	**語Ⅳb (1単位)

⇒『履修のてびき』P.42～44

☆「必修」
単位を絶対に修得しないと卒業できない科目のこと。
単位が修得できなかった場合は「再履修」。

【2ヶ国語選択者】 第1外国語と第2外国語を“1年次に”履修

(第1外国語、第2外国語)各4単位

学年	春学期	秋学期
1年次	▲▲語Ⅰa (1単位)	▲▲語Ⅱa (1単位)
	▲▲語Ⅰb (1単位)	▲▲語Ⅱb (1単位)
	●●語Ⅰa (1単位)	●●語Ⅱa (1単位)
	●●語Ⅰb (1単位)	●●語Ⅱb (1単位)

2 選択外国語科目

2単位必要。余剰単位は広域科目の単位として振り替えることができる。

⇒『履修のてびき』P.45

3 広域科目

①思想と文化、②歴史と社会、③健康とスポーツ、④自然と生活、⑥キャリア形成科目それぞれから2単位ずつ必要。

※ただし、①②の分野は、下記の学部指定科目からそれぞれ1科目2単位を含めなければならない。

「①思想と文化」…哲学入門、心理学入門、倫理学入門、芸術学入門

「②歴史と社会」…歴史学入門、政治学入門、経済学入門、統計学入門、社会学入門

⇒『履修のてびき』P.46-47

⇒『年次配当表・時間割表』

P.17-18、P.74

この条件を満たして、外国語科目と合わせて24単位以上になるように適宜履修。

* ③健康とスポーツ

◇『～方法学』科目は1年の秋学期から履修可能。

◇1科目2単位を超えての履修はできない。

* ⑥キャリア形成科目

◇2科目4単位を上限とし、これ以上は学科専攻科目への振り替えはできない。

* 24単位を超えてしまった場合

◇全学共通科目〔オープン科目〕の修得単位とあわせて、(C) 選択科目に振り替えられる。(最大8単位まで)

⇒『履修のてびき』P.B-11

4 学部基礎科目

10単位必要。

1年次に全9科目を履修することが望ましい。

10単位を超える単位は、(B) 選択科目に振り替えられる。

★「キャリア設計」以外は、大学が指定するクラスで極力履修すること。

学年	春学期	秋学期
1年次	現代経営入門Ⅰ	現代経営入門Ⅱ
	会計基礎論Ⅰ	会計基礎論Ⅱ
	情報実習Ⅰ	情報実習Ⅱ
	ビジネス法入門Ⅰ	ビジネス法入門Ⅱ
	★キャリア設計	★キャリア設計
	会計基礎論(中級)Ⅰ	会計基礎論(中級)Ⅱ

※全て2単位科目

※全商簿記1級または日商簿記2級以上を取得している学生は、「会計基礎論Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければならない。

※「キャリア設計」は春・秋学期で合計10クラス開講。

⇒『年次配当表・時間割表』

P.36、P.100

5 (A) 必修科目

12単位必修。 *この区分の科目の履修は2年次から。

⑥ (B) 選択科目

44 単位必要。
44 単位を超える単位は、(C) 選択科目に振り替えられる。

⑦ (C) 選択科目

24 単位必要。
(B) 選択科目、(D) 演習科目の各卒業必要単位数を超える単位を含めることができる。

① (C) - (a)、(C) - (d)
配当表に定める科目。

② (C) - (b)
本学科に配当されていないビジネス法学科、第2部経営学科の科目。
ただし別に定める(☆)同種科目は重複履修できない。

③ (C) - (c)
全学共通科目〔外国語科目・広域科目〕の余剰の単位、および本学部に配当されていない全学共通科目〔オープン科目〕(最大8単位まで)。

⑧ (D) 演習科目

10 単位必要。
10 単位を超える単位は、(C) 選択科目に振り替えられる。

学年	春学期	秋学期
2 年次	—	演習 I、特別演習
3 年次	演習 II	演習 III
4 年次	卒業研究 (通年)	

※卒業研究は 4 単位科目、他 2 単位科目

① 演習 I、特別演習
2 年次の春学期に別途募集。

② 演習 II、演習 III
演習 I に引き続き、同じゼミで履修。

③ 卒業研究
演習 III に引き続き、同じゼミで履修。

2 コース所属について

スペシャリスト養成コースに興味がある場合は、『履修のてびき』P. B-16~22 を確認しておくこと(任意、1 年次秋学期募集)。

3 履修登録について

① 科目の選択について

毎学期、卒業に必要な科目を優先して選択する。
『履修のてびき』『年次配当表・時間割表』『講義計画(シラバス)』『KVC の掲示』を確認すること。

② 履修できる科目について

- * 『年次配当表・時間割表』の配当年次に適合する学年の科目が履修可能。
- * 同じ科目は重複して履修できない。
- * 大学に指定された科目は必ず履修。
- * 先修条件を満たした科目。

③ 履修できる単位数について

以下に定められた単位数以内で科目を選択する。

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
単位数	22	22	24	24	24	24	24	24	188

☆「別に定める…」
⇒『年次配当表・時間割表』
P.50

⇒『履修のてびき』p.48

⇒『年次配当表・時間割表』
P.18・P.38

☆「全学共通科目〔オープン科目〕」
他学部が開放している科目。
オープン科目「グローバル科目」は、すべて英語による授業。

☆「演習科目」
ゼミ。非常に大切な科目です。
必ず履修しましょう。

☆「特別演習」
「演習 I」に加え「特別演習」
を同時に履修することが必要なゼミもあります。

☆「コース所属」
現在、皆さんは経営コース
に所属しています。

⇒『履修のてびき』P.12

☆「先修条件」
前提となる科目を修得していないと履修できないこと。ハイレベルな内容を取り扱う科目に多い。

⇒『履修のてびき』P.13

4 予備登録について

受講者が多くなる全学共通科目（健康とスポーツ科目など）、コンピュータ実習室を利用する学科専攻科目は、希望者全員を受け入れることが困難。そのため事前に希望を登録し受講者数を調整することを予備登録という。

5 履修登録・予備登録の方法について

インターネットに接続できる環境があれば学外からでも可能。各種日程変更等の可能性もあるので、必ず最新情報を以下より確認してください。
<https://www.osaka-ue.ac.jp/education/rishu.html>

6 シラバスについて

講義の内容や評価の方法、受講に際する注意点などが閲覧できる。受講する科目のシラバスは必読のこと。大学HPから閲覧 <https://syllabus.osaka-ue.ac.jp/>
KVCから閲覧 <https://kvc.osaka-ue.ac.jp/>

4 授業を受けるに際して

1 授業時間

1 時限（1 コマ）は 90 分

時限	時間帯
1 時限	9:00～10:30
2 時限	10:45～12:15
3 時限	12:50～14:20
4 時限	14:35～16:05

時限	時間帯
5 時限	16:20～17:50
6 時限	18:00～19:30
7 時限	19:40～21:10

※定期試験期間中の時間は上記とは異なるので、注意が必要。

2 出席情報

教室に入室したら、出席情報収集システムのカード読取機に学生証を読み取らせる。

3 休講・補講

やむを得ない都合により、授業が休講になるケースがある。
KVC を毎日確認すること。また、補講が行われることもある。
KVC <https://kvc.osaka-ue.ac.jp/>

5 試験・レポートについて

『履修のてびき』 p.22～26 を熟読しておくこと。

⇒『履修のてびき』 P.13

⇒別紙
『2020 年度 春学期
予備登録について』

☆「質問がある場合」
電話・メールでの質問には対応不可。質問があれば教務部窓口へ。

⇒『履修のてびき』 p.17～21

☆「学生証を忘れたら」
出席をとる授業の場合、担当の先生に申し出てください。教務部に届け出る必要はありません。

☆「KVC」
大学生活に必要な情報を個人ごとに参照できるサイト。履修情報などの情報を提供しています。

<春学期の時間割の考え方> 自分で考えて登録する科目は何単位分？

●春学期に時間割に入れることができる科目は次の【A】【B】の2種類があります。

【A】大学側ですでに登録している科目

【B】自分で考えて登録する科目

●【A】と【B】の合計単位数は最大で22単位です。

自分が外国語を何力国語選択しているかで、【A】と【B】の合計数はそれぞれ違います。

下記の表で、自分で登録する最大の単位数を確認し、科目を考える参考にして下さい。

【A】大学側ですでに登録している科目	1ヶ国語選択の学生	2ヶ国語選択の学生
全学共通科目〔外国語科目〕の必修外国語科目、学部基礎科目で大学登録済み分	<合計>10単位分	<合計>12単位分
【B】自分で考えて登録する科目	1ヶ国語選択の学生	2ヶ国語選択の学生
配当年次が「1」の科目から自分で選択し登録する。 例：全学共通科目〔外国語科目〕の選択外国語科目、全学共通科目〔広域科目〕の①～④および⑥の科目や、①②の指定科目から選択、学部基礎科目のキャリア設計、経営と法の融合Ⅰ など	最大で12単位分 まで自分で登録可能	最大で10単位分 まで自分で登録可能